

NEWS RELEASE

新開発・フィルム型次世代太陽光電池を導入 変なホテル3期棟「サウスアーム」OPEN

ハウステンボス初の和室登場

2018年12月21日（金）

ハウステンボス株式会社（所在地：長崎県佐世保市）は、2015年7月に誕生した「変なホテルハウステンボス」を新たに増床。第3期棟「サウスアーム」として56室が加わり、全200室となり12月21日（金）にオープンいたします。

生産性の高いホテルを実現しようとロボットによる接客をはじめ、建設コストの削減を企図した工法の導入や省エネルギー化に取り組んでまいりました。

- ・光熱費の自給自足向上を企図した最新のフィルム型太陽光電池の活用
- ・和室をコンセプトに、省電力や客室清掃の省力化を意識した空間計画
- ・より快適な開錠を実現するタブレット式の顔認証システムを導入

今回の3期棟では、ハウステンボスのホテルで初の和室をコンセプトにした客室が誕生。ご宿泊の約2割が海外のお客様にご利用いただいていることもあり、和の演出により訪日滞在をご満喫いただけます。お部屋の開錠の際には最先端のタブレット式顔認証システムを導入しました。さらに、最新のフィルム型次世代太陽電池を活用し、看板照明の電源を供給してまいります。将来的にはスマートホテルでありながら世界的に問題視されている低炭素社会の実現のため、植物性由来の蓄電池の導入により、客室への電源供給を図っていく考えです。

1号店を誇るハウステンボス店では、実証実験を重ねて今後もより高い生産性と快適さを追求したホテルを目指してまいります。

変なホテル ハウステンボス 3期棟「サウスアーム」概要

敷地面積：2,069.01㎡

延床面積：2,400.85㎡

階数：地上2階建

客室数：56室

（スーパータイプ 29.39㎡/38室）

（デラックスタイプ 34.43㎡/18室）

構造：木造

工事期間：平成30年3月下旬～平成30年11月末

設計：株式会社デザインキット

施工：松井建設株式会社



【スーパータイプ】



【デラックスタイプ】

フィルム型次世代太陽電池 概要

特 徴：柔軟性に優れ、様々な用途の活躍が期待される。
 他社の類似製品と比較してフィルムの透明性が高く、
 汎用性の高さが期待される。

使用枚数: 72枚

発電量: 15w

Saule Technologies 社とは：ポーランドに拠点を置く、
 フィルム型太陽光電池の開発企業

(ご参考)

変なホテル ハウステンボスについて

ロボット台数：15種 127台

スタッフ数：8名

館内施設：変なバー（2017年11月～）、スマート・コンビニ（2018年4月～）ほか



	1期棟 (ウエストアーム)	2期棟 (イーストアーム)
開業日	2015年7月15日	2016年3月14日
敷地面積	10,188.92 m ²	6,269 m ²
延床面積	3,541.16 m ²	1,989.71 m ²
階数	地上2階建	地上2階建て
客室数	72室	72室
客室タイプ	スタンダードタイプ 21 m ² /20室 スーペリアタイプ 28 m ² /40室 デラックスタイプ 33 m ² /12室	スタンダードタイプ 20 m ² /54室 デラックスタイプ 32 m ² /18室
構造	鉄骨造	木造 (CLT 工法)
設計	東京大学生産技術研究所 川添研究所 (設計協力：株式会社日大設計)	KAJIMA DESIGN (設計協力：住友林業株式会社)
施工	株式会社梅村組	鹿島建設株式会社 九州支店 (施工・技術支援：炭十林業株式会社)
特徴	空調設備に輻射パネルを導入により、ムラの無い快適な室内環境を調整。また世界展開を見据え、輸送に適したモジュールを採用。 客室には顔認証システムでの開錠が可能なキーレス滞在を実現しました。	日本初の CLT 工法で建設されたホテル。 持続可能な自然素材である木材資源を活用します。 太陽光発電と自立型水素エネルギーシステムの導入で客室の一部は電力の完全自給自足を実現。

《ニュースリリースについてのお問い合わせ先》
 ハウステンボス株式会社 経営企画室 須田・中野・松尾
 TEL 0956-27-0138 FAX 0956-27-0025